

出会い・学びあい・そして広げよう!

「東北アコーディオンジャンボリーin 山形」へのお誘い

今、地方の話題は、「過疎と少子高齢化」ですが、これは東北のアコーディオンにもそのまま当てはまりそうです。のど自慢からアコーディオンが消えて久しい今、マスコミで見聞きすることもめったにないし、生演奏に接する機会もないから、その良さを知る機会がない。

アコーディオンという楽器があるらしいことは知っていても、学校や部活にもないから、若い人には縁がない。何とか手に入れて覚えようにも、教室も指導者も学びあえる仲間もないから、ひとり試行錯誤で四苦八苦。ないないづくしの中で、ますます絶滅危惧趣味と言われそうな状態にあると言えるでしょう。

その東北でアコーディオンを愛する仲間たちが集まって、学びあい、交流しあう第1回アコーディオン・ジャンボリーが宮城県で開かれたのは2006年11月のこと。でも、毎年定期開催するほどの人口もなければ力もない状態の中で、不定期ながら2008年11月に第2回宮城県、2010年6月には第3回福島県、そして2013年5月は第4回宮城県と開催されてきました。

講座、ワークショップや、演奏交流を広く聴衆に聞いてもらうことによって、レベルの向上、東北の仲間や関東との交流、普及にも一定の役割を果たしてきています。

そして今回、無謀にも核となる組織もない山形県で、第5回をこの山形県でやろうと準備を進めておるところです。

6月の山形は気候も良く、田植えも済んで緑豊かな大地の向こうに残雪の山が連なり、たいへん美しい風景が広がります。名産のさくらんぼの収穫も始まりますし、あやめやゆりも咲き始めます。

全国のアコーディオン愛好者の皆さん、2015年6月は山形に来て、学びあい、交流しあい、そして山形を見て触れて味わっていただきたいと思います。

お待ちしております。

2014年12月

東北アコーディオン・ジャンボリーin 山形実行委員会

実行委員長 荒川 一美

開催要項(案)

2014年12月26日

- ◇ タイトル:第5回「東北アコーディオン・ジャンボリー」 in 山形
- ◇ と き:平成27年6月13日(土)～14日(日) 1泊2日
日 程 13日 13時～14時受付 15時開会
14日 15時30分終了 16時解散
- ◇ ところ :ヒルズサンピア山形 山形市蔵王飯田 637 Tel 023-632-1555
- ◇ 趣 旨:「 出会い・学び合い・そして 広げよう! 」 仲間の輪
- ◇ 参加者 :東北でアコーディオンにかかわる愛好者、支援者、個人、団体
その他関東地域の愛好者の個人、団体
- ◇ ゲスト :田中トシユキ&トリオ(P3 参照)
- 初 日
 - 1.参加者の演奏交流
 - 2.ゲスト講師による講義 ワークショップ
 - 3.参加者の懇親会
- 2日目(一般公開は無料)
 - 1.午前 参加者の演奏交流
 - 2.午後 一般公開 参加者の演奏発表
 - 3.午後 JAZZ トリオ(アコーディオン・ベース・ドラム)のバンド演奏
- 参加曲と演奏
 - 1.参加者交流(14日午前) 5分以内(応相談)
 - 2.一般公開での参加者発表(14日午後) 5分以内(応相談)
- イベント:フリーマーケット、アコーディオン関連グッズの展示頒布
- ◇ 参加費 :¥16000(一泊二日3食・参加費・懇親会費) 温泉H.諸物価、税UPなど
ご理解ください。参加の態様(日帰り・部分参加など)による参加費は試算中です。
- ◇申込み先 :郵送の場合 〒992-0821 山形県西置賜郡白鷹町十王 802 荒川一美 宛
Eメール p-hyara7@gray.plala.or.jp
参加申込みは、後日の別途申込書・フォーマットで申し受けます。

□主催 :第5回「東北アコーディオンジャンボリー」 in 山形実行委員会

□後援 :NPO 法人 JAA 日本アコーディオン協会
地元山形のマスコミに申請中

□連絡先 ・荒川 一美(実行委員長) 電話 090-2888-1934 023-632-1555
・横倉 孝信(事務局長) 下記のブログ、サイト参照ください。
<http://blog.goo.ne.jp/h27acoyama/e/c47d1a8e3375be829dfb7d99c0d74264>
<http://www7.plala.or.jp/p-hyara7/accordion.htm>

注)3月を目途に、実施内容詳細を決定次第お知らせします。<尚とき・ところは決定です>



田中トシユキ 氏

ゲスト講師プロフィール

ジャズ・シャンソン・ミュゼットなど幅広く演奏するボタン&鍵盤両刀使いのアコーディオニスト。北海道生まれの新潟育ち。ほとんど独学習得。2000年に仏ナント市のJAZZ フェスティバルへ日本代表で初出演。近年はボタンアコでたびたび仏へ遠征。ピアノ、クラリネット奏者としてもソロ・アンサンブル等で活躍中。

「東北アコジャン」今年一年の歩み（P.4参照）

★ 雪解け後の4月6日（日）、山形の村山市基点クアハウスにて、「東北アコーディオンジャンボリー（以降「東北アコジャン」と呼称）協議会が開催された。

協議会の趣旨は、「東北アコジャンの未来像」「その課題と対策について」をテーマに、「東北アコジャン」第5回目の開催を模索するに当たり、事前に回収したアンケートを資料に、各県の現状と方向性について、且つ高齢化対策と通信改革（ネット活用）等の、課題をクリアする体制のあり方等を加えて、活発な意見交換が行われた。

討議の中から、「東北アコジャン」の継続推進を前提として、特筆される事案をピックアップすると次のことが上げられる。

- ① 「東北アコジャン」定期の開催と鮮度ある情報と資料の交換を。
- ② 集いの時間消化は、アコーディオンの交流時間を優先に確保して欲しい。
- ③ 東北地域でアコーディオンの特別講座、講習会を合宿形式での開催を。
- ④ アコーディオン大合奏は、スケールや選曲の課題はあるが、味わいたい分野である。
- ⑤ 今後の開催地は、宮城仙台における間隔開催を基点としながら、各県の巡回開催という開催が望ましい。（山形→仙台→000→仙台の開催案）
- ⑥ アコーディオンを中とした「単独の音楽祭」企画はどうか。

第5回の「東北アコジャン」が山形のコンセンサスを得て、山形県内で、27年の6月に開催の方向で固まった。協議会日程の中、少ない時間でしたが、池田氏の伴奏基礎講座と参加者各人の愛しい曲が披露されました。

参加者は池田氏（関東）、佐々木氏（岩手）、石川氏（福島）、荒川氏、本田氏、横倉氏、佐藤氏、鈴木氏（山形）、阿部氏、氏家氏（宮城）、遠藤（仙台事務局）の11名

以上 「東北アコーディオンジャンボリー」 仙台事務局 遠藤 勇

アルバム レポート



東北各地の代表者が集い、これからの「東北アコーディオンジャンボリー」の方向性を協議しました。

・平成 26 年 4 月 於山形村山市基点



第 5 回「東北アコーディオンジャンボリー」の企画会議を 7 月と 11 月に実施。開催要項の検討を重ねました。

・於 ヒルズサンピア山形のロビー

ボランティア(せんだんの館、松陵音楽の集い、若林区仮設住宅の 3 回実施) ←

・12 月 於仮設住宅交流演奏会

練習会場の市民センター主催の「まつりだよ!」に出演。✓

・10 月於泉区中央市民センター

・新しくアンサンブル誕生!

名前がアンサンブルオクテテット(8 重奏)です。アコ 2・コルネット・尺八・ハーモニカ・キーボード・パーカッション・コントラバス、当面音はともかく楽器の多品種が売りですよ。今年 4 月に誕生し年内 5 回もステージを消化よ! 心臓に毛が生えた連中かも。2015 年山形アコジャンへ行きた〜い。
仙台 サプロウ



編集後記 11 月の半ばに突然 PC が故障、慣れ親しんだ相棒に先立たれ、あげくの
はてに、初回からの「東北アコジャン」とシルバークラブの「文化祭」
超大事なファイルが消え去りの一大事。新しい PC 購入するも慣れるまでの悪戦苦闘で
トラブル連発。若くない年で、年の瀬に音を上げています。